

大麦管理情報 (第3号)

令和5年12月1日
農業技術課 広域普及指導センター

1 気象経過

(1) 気温 (図1)

平均気温は、平年に比べ、11月中旬が9.5℃ (平年差-1.5℃) と低く、11月下旬が9.6℃ (同+0.2℃) と並であった。

(2) 降水量 (図2)

降水量は、平年に比べ、11月中旬が164.5mm (平年比195%) とかなり多く、11月下旬が72.0mm (同93%) と並であった。

(3) 日射量

全天日射量は、平年に比べ、11月中旬が4.9MJ/m²/日 (平年比75%) とかなり少なく、11月下旬が7.0MJ/m²/日 (同115%) と多かった。

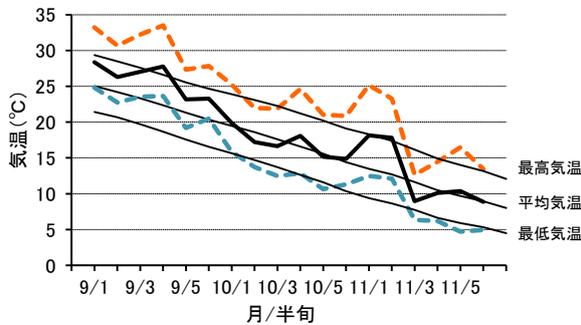


図1 気温の推移 (富山地方気象台)

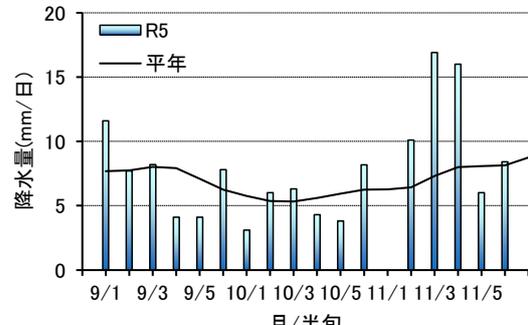


図2 降水量の推移 (富山地方気象台)

2 生育概況 (表1、図3、4)

- ・平年に比べ、草丈は長く (平年比110%)、茎数はやや少なく (平年比93%)、葉齢は並 (平年差+0.1葉)、葉色 (SPAD) は淡く (平年差-2.9) になっている。
- ・生育はほ場によるばらつきが大きく、排水不良のほ場では茎数が少ないなど、越冬前の目標茎数 (600~800本/m²) が確保されていないほ場が見られる。

表1 大麦の生育状況 (12月1日)

	播種期 (月/日)	苗立数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)
				(本/株)	(本/m ²)		
6年産	10/7	167	30.6	3.9	647	6.4	36.0
5年産	10/6	170	30.9	5.0	818	6.6	42.0
平年	10/5	174	27.8	4.0	699	6.3	38.9

注) 調査ほ場数: 10、播種様式はすべてドリル播き、平年はH26~R5年産の平均

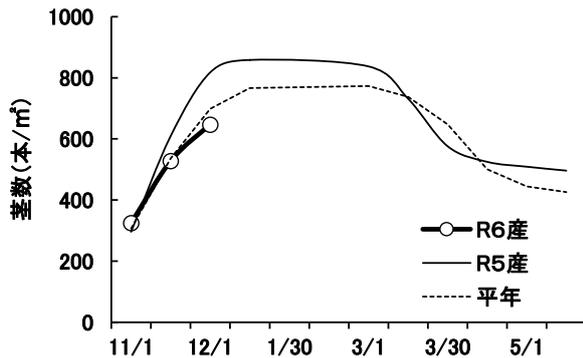


図3 茎数の推移

注) 平年はH26~R5年産の平均

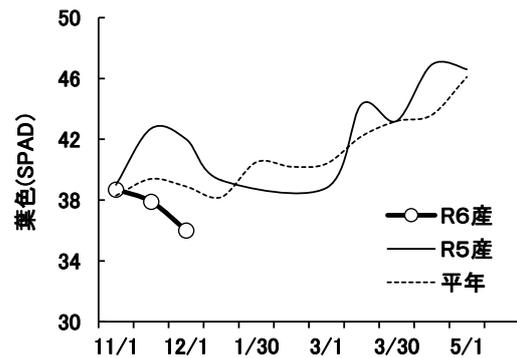


図4 葉色の推移

注) 平年はH26~R5年産の平均

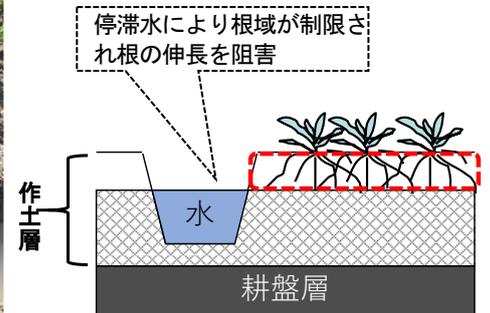
3 当面の技術対策

(1) 排水対策の徹底

排水不良となっているほ場が多いことから、雨水や雪解け水がほ場内に停滞しないように、積雪前に排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口へ連結する。

【排水不良のほ場】

溝に水がたまっている

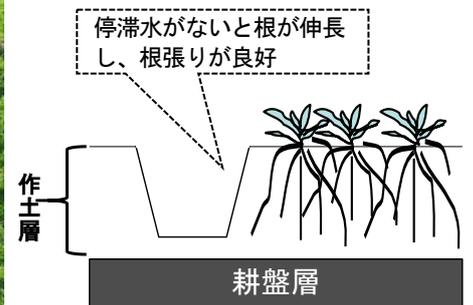


排水溝の高い部分や埋まりを削り、排水口へ連結する



【排水良好のほ場】

ほ場内に停滞水がない



(2) 分施肥体系の年内追肥

年内追肥は原則として1回のみとするが、12月初めの生育が、茎数500本/m²以下、かつ、葉色がSPAD値で30以下のほ場は、年内2回目追肥として窒素成分で10a当たり2kg以内の施用を行う。